

津山市立図書館電算システム及び関連機器の賃貸借に  
係る公募型プロポーザル要求仕様書

令和6年4月

津山市立図書館

## 目次

I 全般	
1. 目的	1
2. 基本的な要件	1
3. 調達範囲	2
4. 業務実施要件	2
5. 納入物	3
6. 納入場所	3
II システム構築要件	
1. システム機能要件	4
2. データセンター要件	5
3. ネットワーク・セキュリティ構築要件	5
4. データ移行要件	5
5. 他の図書館との連携	6
6. 職員向け操作研修、本番稼働の立ち会い	6
7. システム保守・運用支援	6
III システム構成	
1. 現行システム構成	7
IV ハードウェア要件	
1. 共通事項	8
2. サーバ	9
3. クライアント端末（デスクトップ）図書業務用端末	9
4. クライアント端末（ノート）BM用端末	9
5. クライアント端末（ノート）視聴覚用端末	10
6. 館内OPAC	10
7. 不正通過書名表示ノート端末	11
8. 自動貸出機用端末	11
9. ICタグシステム蔵書点検用ノート端末	12
10. モノクロレーザープリンタ	12
11. レシートプリンタ	12
12. バーコードリーダー	12
13. ハンディターミナル	12
14. 利用者用端末	13
15. ネットワーク機器	13
V その他	13

## I 全般

### 1 目的

津山市立図書館では平成17年の市町村合併時に4市町の図書館電算システム（以下システムという）の統合を行い、平成21年度にはICタグシステム、令和元年度にはクラウド型システムを導入した。またWEB蔵書検索・予約受付、移動図書館（以下、「BM」と言う）ではモバイル接続によるリアルタイム処理を実施している。

また、図書館では、次のようなサービスの導入を検討している。

- (1) LINE連携機能の導入
  - ①予約連絡や返却期限のLINEでの通知
  - ②LINEのページでの貸出状況の確認、予約
- (2) 業務効率化のための自動連絡機能（予約や督促など）

### 2 基本的な要件

- (1) 現行システム（NEC LiCS-Re2）から次期システムへのデータ移行がスムーズに行えること。
- (2) クラウド型システムを採用し、業務処理の高速化と業務端末管理の効率化を図ること。
- (3) システムは、利用者に対してリアルタイムで4館（本館・加茂町・勝北・久米）とBMのどこでも貸出返却を可能とする一元管理が出来ること。
- (4) BM用端末と本館・地区館の通信はオンラインとし、通信方式は、セキュリティ確保の観点からSSLなどの暗号化通信とすること。
- (5) 通信回線は、LGWAN回線又は専用回線もしくはそれらと同等以上のセキュリティを確保した回線を用いること。
- (6) 利用者のパソコン、携帯電話、スマートフォン等との通信には暗号化通信（SSL通信）を用いること
- (7) 内部セキュリティ対策としてパスワード認証及びアクセス制限等のセキュリティシステムを備えていること。
- (8) 現在導入されているICタグ（規格ISO15693）、IC関連機器（ICタグリーダライタ、自動貸出機、BDSゲート、蔵書点検端末）は現状のまま継続使用する。新システムは現在使用している機器等（ICタグリーダライタ、ICタグ付バーコード、自動貸出機、BDSゲート、蔵書点検端末）と連動して動作が保証されていること。
- (9) 自動貸出機用端末はWindows11以上に対応したインターフェースを準備すること。
- (10) ホームページは、ユニバーサルデザインに対応した更新を行う。掲載内容は現行の項目を維持し、ホームページには企業広告のバナーを5枠掲載できること。規格は縦60ピクセル、横120ピクセルであること。
- (11) BM業務の処理速度の向上と業務の効率化を図ること。
- (12) 個人情報保護の強化のために職員ごとにID・パスワードを付与し、操作権限の管理と個人情報へのアクセス記録及び操作ログの採取・保存を行うこと。
- (13) 新システムの構築にあたって、当館の目的に合致する有効な提案があれば記載すること。

### 3 調達範囲

#### (1) 業務実施計画

実施体制、スケジュール、プロジェクト管理方法、進捗管理方法、設計開発の進め方、リスク管理方法等を記載すること。

#### (2) 基本設計

業務フロー、システム構成図、ネットワーク構成図、機能一覧表、画面・帳票レイアウト等を記載すること。

#### (3) 詳細設計

機能設計書、画面、帳票の項目説明、バッチ処理のフローチャート等を記載すること。

#### (4) システム開発

#### (5) ネットワーク構築

#### (6) データ移行

#### (7) 通信回線整備

#### (8) ホームページ更新

#### (9) 操作研修

#### (10) 5年間の保守、運用支援

### 4 業務実施要件

#### (1) 契約期間

##### ① システム構築期間

契約締結の日から令和12年2月28日までの間

##### ② システム移行期間

システム移行のための休館期間については原則10日間以内とし、当市と協議して決定する。

##### ③ システム稼働日

令和7年3月1日

##### ④ システム保守・運用支援期間

令和7年3月1日～令和12年2月28日

#### (2) 秘密保持

受託者は本業務を通じて知り得た秘匿を要する事項ならびに個人情報等を第三者に漏らしてはならない。また、不当な目的に利用してはならない。この契約が終了した後についても同様とする。

#### (3) 再委託の禁止

受託者は業務の全部または主たる部分を第三者に請け負わせまたは委任してはならない。業務の一部を第三者に請け負わせまたは委任しようとするときは、あらかじめ当市の承認を得なければならない。

#### (4) 打ち合わせ場所

本業務にかかる打ち合せ等は津山市立図書館本館にて行うこと。

#### (5) 契約不適合

受託者は導入するパッケージソフトのほか、カスタマイズ及び新たに開発したプログラムについて契約不適合があった場合、システム保守・運用支援期間内は契約不適合責任を負うものとする。

(6) 納品・検収

当市が承認したテスト計画書に基づくテストの合格及び成果物の納品をもって検収とする。納品スケジュールについては、当市と協議のうえ決定すること。

(7) 既存機器の処分

津山市立図書館4館とBMで現在使用している図書館システム機器（クライアント端末、プリンタ等）について、継続して使用しないものはすべてデータを削除し、廃棄を行うこと。データの削除については津山市の指示に従うこと。

(8) 支払方法

図書館システム及び関連機器賃貸借及びクラウドサービス利用とそれらの保守費用、またシステム構築費用についても賃貸借契約に含め、契約月額を支払額とし毎月払いとする。

(9) 疑義

本概要に記載のない事項及び疑義が生じた場合には、速やかに協議し、円満に解決を図るものとする。

## 5 納入物

(1) システム（ネットワークを含む）

①ソフトウェア一式

②機器類一式

(2) ドキュメント

①実施計画書

②基本設計書

③詳細設計書

④打ち合わせ議事録

⑤テスト計画書及び結果報告書

⑥セキュリティ検査結果証明書

⑦システム操作マニュアル（図書館職員向け）

⑧システム管理マニュアル（システム管理者向け）

⑨OPAC表示用の全館の館内書架図

⑩ネットワーク配線図、機器構成図

⑪データベースパスワード（更新する場合は随時図書館に提出するもの）

⑫保守説明書

⑬業務完了報告書

⑭その他必要なもの

## 6 納入場所

(1) システム納入場所

名称	所在地
津山市立図書館 自動車文庫 (BM)	〒708-8520 岡山県津山市新魚町17番地 アルネ・津山 4階
津山市立加茂町図書館	〒708-3905 岡山県津山市加茂町塔中113番地6
津山市立勝北図書館	〒708-1205 岡山県津山市新野東584番地
津山市立久米図書館	〒708-4603 岡山県津山市中北下1271番地

クライアント端末等は、図書館の指示に従って各図書館に設置すること。

(2) ドキュメント納入場所

津山市立図書館

## II システム構築要件

### 1 システム機能要件

(1) 本システムが対象とする業務は以下のとおり。なお、各業務の詳細な機能要件について、別紙  
1「機能要件確認書」に示すので、回答を記入し、企画提案書とともに提出すること。

①システム全般

②窓口業務

- ・貸出・返却・予約
- ・利用者管理
- ・督促管理

③資料管理

- ・目録管理・蔵書管理・相互貸借

④資料検索

⑤収書業務

⑥蔵書点検

⑦館内OPAC・WEB OPAC・携帯OPAC

⑧ホームページ

⑨統計・帳票管理

⑩レファレンス管理

⑪移動図書館業務

⑫ICタグシステム

- ・自動貸出機
- ・蔵書点検機

⑬盗難防止 (IC連携)

- ・不正通過書名表示

⑭緊急対応

⑮その他

## 2 データセンター要件

重要な情報の保管先であるデータセンターは、十分なセキュリティ対策や災害対策などが必要である。このため、次の事項に留意して提案を行うこと。

- (1) 図書館システムのデータセンターの設置場所は日本国内とし、日本国内法の適用を受けること。
- (2) データセンターでは、入退室管理、監視カメラ、警備等のセキュリティ対策を講じ、その方法について企画提案書に記述すること。なお、情報セキュリティマネジメントシステム適合評価制度（ISO・IEC27001）の認証を取得していることが望ましい。
- (3) データセンターでは、災害対策（大規模地震対策、災害時の電源確保、火災、落雷、水害対策等）を講じ、その方法等について企画提案書に記述すること。
- (4) データセンター内の電源の状況（UPS、自家発電設備等）、空調設備等の状況を企画提案書に記述すること。
- (5) システムは常時使用可能とし、それに対応したデータセンター稼働とすること。図書館が開館中はメンテナンス等の休止をしないこと。図書館の閉館時にメンテナンスを行う場合は、2週間前までに書面またはメールで本市に報告し、承認を得ること。

## 3 ネットワーク、セキュリティ構築要件

- (1) 通信回線は、機械設備等も含めて提案するシステムを適切に利用するために新たな機械、通信回線が必要な場合は、老朽化した配線の取替費用、初期経費、経常経費ともに本業務の費用に含むこと。また、常時安定的な通信が行えるよう回線の環境を整備し、地区館（加茂・勝北・久米）の回線の更新を行うこと。
- (2) 業務系と利用者用インターネット系は別セグメントとすること。
- (3) BM業務については、最適なネットワーク提案を行うこと。また、SSL-VPN等の機器については、導入時の最新の機器を使用すること。
- (4) 利用者が操作するパソコンについては、不正行為等を防止するための操作制限ソフト等を備えること。
- (5) ファイアウォール、ウイルス対策ソフトの更新は、受託者が契約期間を通じて対応すること。
- (6) 稼働前には外部攻撃に対して公開系システムに脆弱性がないことを確認し、証明書を提出すること。
- (7) ネットワークを可視化した詳細なシステム及びネットワークの結線図を提出すること。

## 4 データ移行要件

- (1) 現行システムデータを支障なく新システムへ移行すること。
- (2) 現行業者が抽出したデータを受け取る場合は、現行業者と調整すること。また、受託者にて現行システムからデータ抽出を行う場合は、データ抽出、移行作業が原因でトラブルがあった場合には受託者の責任で対処すること。
- (3) 現行システムはTRCTタイプのMARCを使用し、一部に手入力データを含んでいる。データ移行時にはMARCを最新データとすること。（TRCとメンテナンス契約あり）

- (4) データには個人情報が含まれるため、取り扱いには細心の注意を払うこと。
- (5) 今回のデータ移行にあわせて除籍資料データや無効利用者データ等のクリーニングを予定している。その仕様に関しては当市の指示に従うこと。
- (6) 資料バーコード、ICタグおよび貸出券は既存のものを継続利用できること。
- (7) データ移行作業後の最終確認は当市が行うこととなるが、職員が確認しやすい方法であること。

## 5 他の図書館等との連携

- (1) 岡山県相互貸借システムに対応できること。
- (2) 図書館間相互貸借資料の管理ができるシステムとすること。
- (3) 岡山連携中枢都市圏貸借資料の管理ができるシステムとすること。
- (4) 三館連携（美作大学図書館、津山工業高等専門学校図書館、津山市内高校図書館）の資料管理ができるシステムとすること。
- (5) 団体貸出システムに対応するため、団体に貸出中の資料データをホームページからCSVでダウンロードできること。
- (6) 電子書籍サービスのMARCが取り込める仕様とすること。

## 6 職員向け操作研修、本番稼働の立ち会い

新システムの運用を円滑にするため、以下の研修を実施すること。研修に必要な資料、機材は受託者で準備すること。実施場所や回数については、当市と協議のうえ決定すること。

- (1) 図書館職員研修  
システムを使用する図書館職員向けの研修を企画・実施すること。  
必要となる操作マニュアルを準備すること。
- (2) システム管理者研修  
システム運用管理者向けの研修を企画・実施すること。必要となるマニュアルを準備すること。
- (3) 新システム稼働時から2日間、津山市立図書館本館に立ち会いを行い不測の事態に対応すること。

## 7 システム保守・運用支援

- (1) システムの円滑な運用が行えるように十分な保守体制を整えた提案を行うこと。
- (2) 土日祝日に対応可能なコールセンターがあり、システムエンジニアが対応できる体制があること。
- (3) 障害発生時、現地での対応が必要と判断される場合には、3時間以内に現地での初期対応が可能であること。また、図書館の業務時間中はもちろんのこと、職員が勤務する日の午後11時までは障害復旧作業を行うこと。
- (4) 図書館システムパッケージについては、トラブル対応だけでなく、操作についての問い合わせにも応じること。
- (5) 蔵書点検時には、当市の求めに応じて立ち会いを行うこと。
- (6) ICタグシステムも含めて一元的に保守対応を行うこと。



- (7) 図書館業務を熟知したシステムエンジニアによる図書館運営支援を行い、図書館システムを図書館の運用形態に合わせ、他図書館の運営事例などの紹介も行うこと。

### Ⅲ システム構成

新システムの機器構成は、現行システムと同等以上の機能を満たすものとする。

(既存のハードウェア、ソフトウェア、システムを流用する場合は、その旨を明記すること)

#### 1 現行システム構成

##### (1) クライアント端末

商品名	型番	数量	単位
Mateパソコン タイプMB	PC-MKM30BZ6ACW5	13	台
17型液晶ディスプレイ	LCDAS172M-W5	13	台
カウンター用タブレット端末	VKT12/8G-5	2	台
館内OPAC MateパソコンMKL36	PC-MKL36BZG5	7	台
17型液晶タッチパネルディスプレイ	CV732PJ/W	2	台
OPAC用端末ディスプレイ 17型SXGA液晶	LCDAS172M-C-D6	5	台
BM出張貸出用ノート端末 VersaProノートパソコンVKT13	PC-VKT13HZG5	2	台
視聴覚用ノート端末 VersaPrノートパソコンVKL21	PC-VKL21XZG5	1	台
蔵書点検用ノート端末 VersaProノートパソコンVKL21	PC-VKL21XZG5	3	台
書名表示用端末 VersaProノートパソコンVKL21	PC-VKL21XZG5	1	台
自動貸出機用端末 MateパソコンMKL36	PC-MKL36BZG5	3	台
液晶タッチパネルディスプレイ	CV732PJ/W	3	台
ハンディターミナル	BT-600	5	台
ハンディターミナル用充電器5連充電ユニット	BT-UC65	1	台
USB光センサーマウス		9	個
USB 109キーボード&USBレーザーマウス		24	個
蔵書点検用ポータブルスキャナ	U-P S 300	3	台

##### (2) プリンタ、その他

商品名	型番	数量	単位
モノクロレーザープリンタ Multiwriter8600	PR-L8600	5	台
レシートプリンタ	PR-T300S2DCU99	13	台
感熱ラベルプリンタ	PR-T300S2DXL	4	台
バーコードリーダー	Stream7R-USB	14	個

バーコードリーダー（スマホ貸出券対応）ウェルコム（購入品）	1000A	5	台
自動貸出機卓上スキャナ（スマホ貸出券対応）OPTICON（購入品）	M-10	3	台
ICリーダーライター	U-MR102AA	10	台
ICリーダーライター（金属対応）	U-MR102AS	3	台
自動貸出機（IC/システム）	U-AL100	3	式
蔵書点検機 YOMMON	U-YM200C	1	式

### (3) ソフトウェア

商品名	型番	数量	単位
Lics-Re2 基本業務システム		1	本
Lics-Re2 クライアントシステム		17	本
Lics-Re2 OPACクライアントシステム		7	本
Lics-Re2 Web蔵書検索システム		1	本
Lics-Re2 T00Li連携システム		1	本
Lics-Re2 レファレンス対応		1	本
Lics-Re2 BMノートサブシステム		1	本
ICタグ連携サブシステム		1	本
自動貸出機連携		3	本

### (4) セキュリティ

商品名	型番	数量	単位
総合型ファイアウォール	FG-101E-BDL-US	1	台
2通路ゲート	U-LVM-RG2000	1	台

### (5) 通信回線

商品名	型番	数量	単位
VPNルータ（BM用）	RTX1210	1	台
無線LAN（IEEE802.11a/b/g/n）&Bluetooth	PC-K-NWS2B5	2	本

## IVハードウェア要件

※主要なハードウェアの要件を以下に示す。

### 1 共通事項

- (1) 5年間のメーカー保守保証や、システムとの動作保証がされている製品であること。  
ただしクライアント端末については1年間のメーカー保守保証とする。
- (2) セキュリティパッチについては、納品時の最新のものを適用したうえで納品すること。

- (3) イメージバックアップを取得し、ハードウェアに障害が起こった際には導入時の状態に復元できること。
- (4) 本概要にない機器であってもシステムの稼働に必要な機器は見積りに含めること。
- (5) 本概要に示す機器・ソフト等について、導入時までには後継機等が発売された場合は、別途協議のうえ対応すること。

## 2 サーバ

- (1) システムの稼働に必要な全てのデータを格納したうえで、稼働後6年以上にわたり図書館業務が安定して運用できること。

なお、現在のデータ量と6年後に予測されるデータ量は以下のとおり。

項目	書誌データ 件数	所蔵データ 件数	年間貸出 冊数	年間予約 件数	利用者データ 件数
現在 (令和6年3月31日)	172万件	49万件	54万冊	8万件	8万件
令和11年度 予測	200万件	55万件	70万冊	10万件	8万件

- (2) 予測を超える業務量の増加があった際にもスペックの拡張が容易に行えること。
- (3) 業務系（内部系）サーバと利用者サービス系（公関係）サーバは、機器を物理的または論理的に分けること。
- (4) OSについては、必要に応じてセキュリティパッチ等を提供し、適用作業を行うこと。

## 3 クライアント端末（デスクトップ）図書業務用端末15台

- (1) 14台はビジネスモデルのデスクトップパソコンであること。1台はタブレットPC端末とすること。
- (2) OSはWindows11以上であること。
- (3) CPUはCore i3またはCore i5等のミドルレンジ以上であること。
- (4) メモリは8GB以上であること。
- (5) SSDは256GB以上であること。
- (6) DVD-ROMドライブを有すること。
- (7) USB2.0以上に準拠したUSBポートが4口以上あること。
- (8) 1000BASE-T以上に対応するLANポートを有すること。
- (9) ディスプレイは17インチ以上のフルカラー表示対応液晶ディスプレイであること。
- (10) マウスは光学式かレーザー式、キーボードは日本語キーボードであること。
- (11) ウイルス対策ソフトをインストールすること。
- (12) OAソフトウェアはMicrosoft Office Personal 2021またはHome&Business2021であること。

#### 4 クライアント端末（ノート）BM用端末 2台

- (1) マイクロソフトサーフェスのタブレットPC、若しくはビジネスモデルのA4ノート型パソコンであること。
- (2) OSはWindows11 以上であること。
- (3) CPUはCore i3またはCore i5等のミドルレンジ以上であること。
- (4) メモリは8GB以上であること。
- (5) SSDは256GB以上であること。
- (6) USB2.0以上に準拠したUSBポートが4口以上あること。
- (7) 1000BASE-T以上に対応するLANポートを有すること。
- (8) マウスは光学式かレーザー式、キーボードは日本語キーボードであること。
- (9) BM用端末については、盗難・紛失時の対策を講じること。
- (10) ウイルス対策ソフトをインストールすること。
- (11) OAソフトウェアはMicrosoft Office Personal 2021またはHome&Business2021であること。
- (12) パソコンバッグ又はタブレットケース、キーボードカバーを付けること。
- (13) タブレット端末にはタッチペンを付けること。

#### 5 クライアント端末（ノート）視聴覚用端末 1台

- (1) ビジネスモデルのA4ノート型パソコンであること。
- (2) OSはWindows11以上であること。
- (3) CPUはCore i3またはCore i5等のミドルレンジ以上であること。
- (4) メモリは8GB以上であること。
- (5) SSDは256GB以上であること。
- (6) DVD-ROMドライブまたはスーパーマルチドライブを有すること。
- (7) USB2.0以上に準拠したUSBポートが4口以上あること。
- (8) 1000BASE-T以上に対応するLANポートを有すること。
- (9) マウスは光学式かレーザー式、キーボードは日本語キーボードであること。
- (10) ウイルス対策ソフトをインストールすること。
- (11) OAソフトウェアはMicrosoft Office Home&Business 2021またはHome&Business2021であること。

#### 6 館内OPAC（タッチパネル式）2台 （キーボード入力式）5台

- (1) ビジネスモデルのデスクトップパソコン若しくはタブレットPCであること。
- (2) OSはWindows11以上であること。
- (3) CPUはCore i3またはCore i5等のミドルレンジ以上であること。
- (4) メモリは8GB以上であること。

- (5) SSDは256GB以上であること。
- (6) DVD-ROMドライブ以上を有すること。
- (7) USB2.0以上に準拠したUSBポートが4口以上あること。
- (8) 1000BASE-T以上に対応するLANポートを有すること。
- (9) ディスプレイ2台は17インチ以上のフルカラー表示対応スクエア型液晶タッチ式ディスプレイ、5台は17インチ以上のフルカラー表示対応スクエア型液晶ディスプレイであること。
- (10) マウスは光学式かレーザー式、キーボードは日本語キーボードであること。
- (11) ウイルス対策ソフトをインストールすること。
- (12) 操作制限ソフトをインストールすること。
- (13) レシートプリンタをつけること。

## **7 不正通過書名表示ノート端末 1台**

- (1) ビジネスモデルのA4ノート型パソコンであること。
- (2) OSはWindows11以上であること。
- (3) CPUはCore i3またはCore i5等のミドルレンジ以上であること。
- (4) メモリは8GB以上であること。
- (5) SSDは256GB以上であること。
- (6) DVD-ROMドライブ以上を有すること。
- (7) USB2.0以上に準拠したUSBポートが4口以上あること。
- (8) 1000BASE-T以上に対応するLANポートを有すること。
- (9) マウスは光学式かレーザー式、キーボードは日本語キーボードであること。
- (10) ウイルス対策ソフトをインストールすること。

## **8 自動貸出機用端末 3台**

- (1) ビジネスモデルのデスクトップパソコンであること。
- (2) OSはWindows11以上であること。
- (3) CPUはCore i3またはCore i5等のミドルレンジ以上であること。
- (4) メモリは8GB以上であること。
- (5) SSDは256GB以上であること。
- (6) DVD-ROMドライブ以上を有すること。
- (7) USB2.0以上に準拠したUSBポートが4口以上あること。
- (8) 1000BASE-T以上に対応するLANポートを有すること。
- (9) ディスプレイは17インチ以上のフルカラー表示対応スクエア型液晶タッチ式ディスプレイであること。

- (10) マウスは光学式かレーザー式、キーボードは日本語キーボードであること。
- (11) ウイルス対策ソフトをインストールすること。
- (12) レシートプリンタをつけること。

#### **9 ICタグシステム蔵書点検用ノート端末 3台**

- (1) ビジネスモデルのA4ノート型パソコンであること。
- (2) OSはWindows11以上であること。
- (3) CPUはCore i3またはCore i5等のミドルレンジ以上であること。
- (4) メモリは8GB以上であること。
- (5) SSDは256GB以上であること。
- (6) DVD-ROMドライブ以上を有すること。
- (7) USB2.0以上に準拠したUSBポートが4口以上あること。(タブレットの場合は変換器でも可)
- (8) 1000BASE-T以上に対応するLANポートを有すること。(タブレットの場合は変換器でも可)
- (9) マウスは光学式かレーザー式、キーボードは日本語キーボードであること。
- (10) ウイルス対策ソフトをインストールすること。
- (11) OAソフトウェアはMicrosoft Office Personal 2021またはHome&Business2021であること。

#### **10 モノクロレーザープリンタ 5台**

- (1) A3からはがきサイズの用紙印刷が可能であり、両面印刷ができること。
- (2) 給紙カセットは3段以上装備していること。
- (3) 100BASE-TX以上に対応するLANポートを有すること。
- (4) 印刷速度は、30ページ/分以上であること。

#### **11 レシートプリンタ 13台**

- (1) サーマル記録方式であること。
- (2) バーコード印字ができること。
- (3) 印刷速度は300mm/s程度であること。
- (4) レシート幅80mmに対応していること。
- (5) オートカッターがついていること。

#### **12 バーコードリーダー 15台**

- (1) CCD方式であること。
- (2) JAN、Code39、Code128、NW-7のバーコードが読取可能なこと。

#### **13 ハンディターミナル 7台**

- (1) レーザー出力方式であり、軽量で作業効率の良いものであること。
- (2) 読み取り完了及びエラーをランプ及びブザーで知らせる機能を持つこと。
- (3) データの送信時は、非接触で簡単に業務端末と接続可能であること。

#### 1 4 利用者用端末（デスクトップ）2台

- (1) ビジネスモデルのデスクトップパソコンであること。
- (2) OSはWindows11以上であること。
- (3) CPUはCore i3またはCore i5等のミドルレンジ以上であること。
- (4) メモリは8GB以上であること。
- (5) SSDは256GB以上であること。
- (6) DVD-ROMドライブ以上を有すること。
- (7) USB2.0以上に準拠したUSBポートが4口以上あること。
- (8) 1000BASE-T以上に対応するLANポートを有すること。
- (9) ディスプレイは17インチ以上のフルカラー表示対応スクエア型液晶ディスプレイであること。
- (10) マウスは光学式かレーザー式、キーボードは日本語キーボードであること。
- (11) ウイルス対策ソフトをインストールすること。
- (12) OAソフトウェアはMicrosoft Office Personal 2021またはHome&Business2021であること。
- (13) 操作制限ソフトをインストールすること。

#### 1 5 ネットワーク機器

- (1) セキュリティやトラフィックを十分考慮したうえで、必要なスペックのファイアウォール等を構成すること。
- (2) IPv6に対応していること。

#### V その他

- (1) 受託者は、契約書及び仕様書に基づき、津山市立図書館と密接に連絡をとり、打ち合わせは必要に応じ随時行うこととする。また、契約締結後は速やかに津山市立図書館と協議し、本事業に係る実施計画書を提出すること。
- (2) 現行システムのデータ抽出に係わる費用は受託者側の負担とする。
- (3) 受託者は、市の条例規則を確認し、システム運用等に支障がある場合には本市と協議すること。
- (4) 本市が承認した仕様書と業務受託者作成の成果品に不一致があった場合は、本市と協議を行い、是正が必要との判断に至った場合、受託者は無償で措置を行うこととする。
- (5) 「納入物」に記載された以外に資料を付することには制限を設けない。
- (6) 受託者は、本業務に関し発生した事故については、その内容に関わらず遅延なく書面をもって報告するとともに、その解決に努めること。
- (7) 現行システム運用保守業務は株式会社OECで行っている。また、ICタグシステムのシステム保

守は株式会社OECを通して株式会社内田洋行で行っている。

- (8) この仕様書に明記されていない事項については、当市と協議の上決定すること。
- (9) 自動貸出機、OPAC の台数に変更が必要な場合は費用に含めること。
- (10) タブレットPC の通信回線工事が必要な場合は費用に含めること。